



# 喜多流自主公演

令和七年三月

令和7年 3月23日(日)

12:00 開演 (11:00 開場)

二十五世観世左近記念 観世能楽堂

前売券：販売中

料金：全席指定(税込)

S席 10,000円 A席 9,000円 B席 8,000円

C席 7,500円 学生席 2,500円 (25歳以下、要学生証提示)

・午前11時15分より、本舞台にて当日の演目の解説をいたします。  
お気軽にご参加ください。

・当日券をご用意できる場合は午前10時45分より発売いたします。

主催：公益財団法人十四世六平太記念財団

協力：一般社団法人喜多流職分会

助成：文化庁文化芸術振興費補助金  
(舞台芸術等総合支援事業 (公演創造活動))  
独立行政法人日本芸術文化振興会

養老 佐藤 寛泰  
源氏供養 栗谷 浩之  
大会 長島 茂

## 令和7年度 喜多流自主公演について

改修工事のために開催場所を変更していた自主公演は、  
令和7年4月より喜多能楽堂にて再開いたします。

3月23日(日)の自主公演は 観世能楽堂にて公演です。  
お間違えのないようお気をつけください。

- ◆ 令和7年度は全10回公演です。 ◆ 会場：喜多能楽堂
- ◆ 令和7年度は開場12時、開演13時となります。(※4月公演から)
- ◆ 指定席券発売：令和7年2月5日(水) 10時～  
全10回公演分、受付開始
- ◆ 全席指定(税込) S席 10,000円 A席 9,000円  
B席 8,000円 C席(桟敷席) 7,500円  
D席(2階) 7,500円 学生席(2階) 2,500円
- ◆ 令和7年度 喜多流自主公演年間優待券 5枚綴 40,000円(税込)  
年間優待券発売：令和7年1月16日(木) 10時～  
喜多能楽堂事務局、喜多流各職分にて発売予定

### チケット予約購入のご案内

#### インターネット

喜多能楽堂ホームページ <http://kita-noh.com/>  
(24時間対応、要登録・無料)

【お受取り・お支払い】

#### ① セブンイレブン

ご予約の際画面に表示された番号をレジにご提示の上チケットをお受取りください。お支払いは現金またはクレジットカードをご利用いただけます。ご予約の際クレジットカードで先にお支払いを済ませていただくことも可能です。

#### 電話予約

喜多能楽堂事務局 TEL. 03-3491-8813  
(午前10:00～午後6:00 休館日あり)

【お受取り・お支払い】

#### ① セブンイレブン

ご予約の際お伝えする番号をレジにご提示の上、チケットをお受取りください。お支払いは現金またはクレジットカードをご利用いただけます。

#### ② 郵送

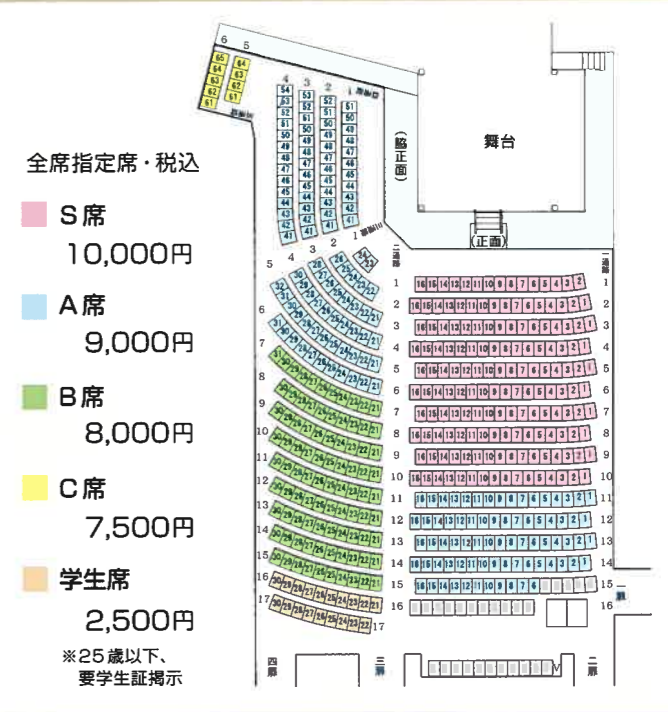
チケット代金と手数料を指定の銀行口座にお振込みください。  
入金確認後、簡易書留にてチケットをお届けいたします。

※ お受取り・お支払い方法によって別途手数料がかかります。  
ご予約の際ご案内いたします。  
※ ご予約いただいたチケットのキャンセル、変更はできません。

### ご注意

- ・ロビーが混雑することがありますので、できるだけ開場時間に合わせたご来場をお願いします。
- ・開演中の途中入場はお断りいたします。
- ・未就学児童のご入場はご遠慮ください。
- ・やむを得ない事情により出演者が変更になる場合がございます。
- ・許可なき写真・ビデオ撮影、及び録音はお断りいたします。
- ・客席での携帯電話やスマートフォンなど音や光の出る電子機器のご利用はお断りいたします。
- ・能楽堂内に食堂はございません。GINZA SIXまたは近隣の飲食店をご利用ください。
- ・観世能楽堂は全館禁煙です。屋外喫煙所をご利用ください。
- ・お席を離れる場合は貴重品、お手回りにご注意ください。盗難・紛失についての責任は負いかねます。
- ・係員の指示に従っていただけない際には退場していただく場合がございます。

### 自主公演観客席御案内



### 会場案内

#### 二十五世観世左近記念 観世能楽堂

〒104-0061 東京都中央区銀座6-10-1 GINZA SIX 地下3階  
会場に関するお問い合わせ TEL. 03-6274-6579 (観世能楽堂)  
観世能楽堂ホームページ <https://kanze.net/>

公演に関するお問い合わせ TEL. 03-3491-8813 (喜多能楽堂事務局)  
喜多能楽堂ホームページ <http://kita-noh.com/>



- ・銀座駅 東京メトロ銀座線・日比谷線・丸の内線 A2出口、A3出口より徒歩2分  
※ 銀座駅とGINZA SIX地下2階をつなぐ連絡通路がございます
- ・東銀座駅 東京メトロ日比谷線・都営浅草線 A1出口より徒歩3分
- ・有楽町駅 JR山手線・京浜東北線・東京メトロ有楽町線 銀座出口より徒歩10分
- ・車でお越しのお客様 GINZA SIX内に併設の駐車場がございます。  
詳しくはGINZA SIXホームページにてご確認ください。
- ・能楽堂へは、三原通り側・トラベルローソン横のエスカレーター・エレベーターをご利用いただくと便利です。中央通り側入口からは、能楽堂までの直行エレベーター・エスカレーターはございません。
- ・土曜日・日曜日・祝日の中央通りは、歩行者天国となり、平日と異なりますのでお車でご来場の際はご注意ください。



事前解説 佐藤 陽

能

前シテ連男 高林昌司  
後シテ・山神 佐藤寛泰  
前シテ・老翁

# 養老

ワキ連・従者 村瀬 提  
ワキ・勅使 村瀬 慧  
ワキ連・従者 矢野昌平  
アイ・里人 吉田信海

大鼓 佃 良太郎 太鼓 梶谷英樹  
小鼓 鶴澤洋太郎 笛 小野寺竜一

後見 香川靖嗣  
佐々木多門

地謡 狩野祐一 粟谷充雄  
友枝真也 金子敬一郎  
大島輝久 友枝雄人  
谷 友矩 内田成信

狂言

# 呼声

シテ・太郎冠者 大藏彌太郎  
アド・主人 小梶直人  
アド・次郎冠者 大藏章照

休憩(二十分)

能

# 源氏供養

後シテ・紫式部の霊 粟谷浩之  
前シテ・里女  
ワキ・安居院法印 館田善博  
ワキ連・従僧 野口能弘  
ワキ連・従僧 野口琢弘

大鼓 安福光雄 笛 槻宅 聡  
小鼓 飯富孔明

後見 塩津哲生  
谷 大作

地謡 狩野祐一 高林呻二  
塩津圭介 中村邦生  
友枝真也 大村 定  
佐藤 陽 佐々木多門

休憩(十分)

能

# 大会

後シテ連・帝釈天 谷 友矩  
後シテ・天狗 長島 茂  
前シテ・山伏  
ワキ・比叡山の僧正 宝生常三  
アイ・愛宕山の木の葉天狗 大藏教義  
アイ・愛宕山の木の葉天狗 上田圭輔  
アイ・愛宕山の木の葉天狗 高木謙成

大鼓 柿原孝則 太鼓 小寺真佐人  
小鼓 住駒充彦 笛 栗林祐輔

後見 友枝昭世  
内田安信

地謡 金子龍晟 粟谷充雄  
佐藤圭介 狩野了一  
塩津圭介 出雲康雅  
高林昌司 大島輝久

附祝言

## 養老 (よおろお)

美濃国の本巣郡に霊泉が湧き出たというので、雄略天皇の命を受けた勅使がその養老の地へと下向する。養老の滝の近くで老翁と若い男の親子に出会い、『養老』と名付けた謂れを問う。親子は「この息子がある時に泉の水を飲んだところ、心が涼やかになり疲れも取れた。汲んで帰り両親に飲ませると、老いも忘れ元気になった」と語り、勅使にその泉の湧き出る所を教え、葉の水の徳を讃える。勅使が感激し、都に帰りこの霊水のことを帝に奏上しようとする。天空が光り輝き音楽が響き花が降り、ただごとではない有様となった。(中人)

そうする内に養老の山神が現れる。自分は山神であるがまた同時に楊柳観音菩薩でもある。水と波は形が変わっても本質は同じであるように、神と仏と呼び名は違えどほんとうは同体であることを述べ、泰平の御代を寿ぎ、舞を舞うのだった。(約九十分)

## 呼声 (よびこえ)

主人に無断で欠勤し旅に出かけていた太郎冠者。帰ってきたと聞いた主人は次郎冠者をお供に、お仕置きしに太郎冠者の私宅へ向向く。しかし、叱られるのが分かっている太郎冠者は居留守を使って姿を見せようとしない。主人と次郎冠者は、あの手この手を使って太郎冠者をおびき出そうとするのだが…。(約二十分)

## 源氏供養 (げんじくよお)

安居院の法印が石山寺へ参詣しようとする途中、里の女に呼止められる。女は「自分はこの石山寺に籠もり『源氏物語』を書いたが、主人公の光源氏の供養をしなかつた為に成仏が出来ない」と述べ光源氏と自分の供養を求めると、自分が紫式部であることを仄めかし消えてゆく。(中人)法印が石山寺に赴き紫式部の供養をしていると、紫式部の霊が現れる。光源氏の跡を叩くと言おう法印に対し、紫式部の霊は布施の代わりにと舞を見せ、願文を捧げると、光源氏の供養をしたことで自らも成仏が出来ることを悦ぶ。実は紫式部は石山観音の化身であり、『源氏物語』はこの世が夢であることを知らせるための方便であったのだ。(約八十五分)

## 大会 (たいえ)

比叡山の僧正に命を助けられた天狗が、山伏に姿を変え僧正の庵室を訪れる。命を助けられたお礼に望みを叶えましようと言おう天狗に、僧正は、釈迦如来が靈鷲山で説法をした有様を拝みたいと思ふ。天狗は引き受けるが、あくまで幻の景色であるから絶対に尊いと思ったり、信心を起さないと、と念をおし山中に消えていった(中人)僧が待っていると、虚空に音楽が鳴り響き仏の御声が聞こえてくる。僧正の眼前は靈鷲山の景色となり、天狗が化けた釈迦如来を始め、あまたの菩薩や龍神などの姿が現れる。空からは花が降り、雲中に天人が居並び、妙な音楽が流れ、説法の有様が再現された。あまりの景色に僧正は天狗との約束を忘れ、思わず信心を起こしてしまう。たちまち怒りを為した帝釈天が天から降り下り、あらゆる魔術を打ち破り、見えていた偽りの大会は散り散りになる。帝釈天は天狗を打ち据えたと天上へ帰り、天狗は岩根を伝い深谷の岩洞に消え去ったのだ。(約六十五分)

### 令和七年 四月 自主公演番組予告

令和七年 四月二十七日(日) 十三時始

●会場 十四世喜多六平太記念能楽堂

●前売開始 令和七年二月五日(水) 午前十時

竹生島 内田成信  
藤戸 大島輝久